

令和4年12月19日

関係各位

当園職員の新型コロナウイルス感染状況について

社会福祉法人 東京緑新会
多摩療護園 園長 岩谷健治

日ごろから障害者支援施設多摩療護園、地域生活相談室おあしすの運営にご理解ご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、12月13日から17日にかけて当法人職員4人が新型コロナウイルス感染症陽性と判定されました。感染状況は以下の通りとなります。

① 職種…生活支援員（通所）

○感染経路…家庭内感染

○経過…家族の罹患により濃厚接触者となり、12月13日に咽頭痛があり、自宅で抗原検査を行い陽性が判明し、医療機関に連絡し陽性認定。

○対応状況…濃厚接触者として12月9日から自宅待機中だったため、園内には影響がないと判断した。

② 職種…生活支援員（入所）

○感染経路…不明

○経過…12月16日に発熱があり、医療機関を受診し、陽性が判明。

○対応状況…最終勤務日である12月14日に当該職員と接触のあった利用者の様子観察を強化した。

③ 職種…生活支援員（入所）

○感染経路…家庭内感染

○経過…同居家族が12月16日に陽性判定を受け、当該職員は12月17日、咽頭痛と発熱があり医療機関を受診し、陽性が判明。

○対応状況…最終勤務日は12月11日だったため、園内への影響はないと判断した。

④ 職種…食事介助パート職員（入所）

○感染経路…不明

○経過…12月17日にのどの違和感と微熱があり自身による抗原検査で陽性疑い。12月19日に医療機関を受診し、12月17日発症とする陽性が判明。

○対応状況…12月17日に食事介助した利用者2名をゾーニング対応とした。その後特変はない。

4人の職員は、適切な感染症対策を実施するとともに勤務中は接点がなく、他の職員や利用者等に感染がないため、施設内感染ではないと判断されます。

通所生活介護、短期入所事業については、利用者及び家族に情報提供を行い利用の可否を判断していただくこととして、事業は継続しています。現時点で判明しております状況は以上のおりですが、関係の皆様にはご心配をおかけします。なお、今後、状況に変化が生じた場合は改めて報告させていただきます。引き続き、よろしくお願いいたします。